

# 大 会 決 議

農業・農村は今、農業就業者の急速な減少と高齢化が深刻な課題となっている。そうしたなか、担い手への農地の集積や集落営農・法人化による経営体の多様化を図り地域農業農村の維持・発展に努力している。

一方で、東日本大震災や熊本地震などの地震災害、相次ぐ台風の上陸など過去に経験したことのない大規模な自然災害が頻発するなか、NOSA Iは農業災害対策の柱として、その果たす役割はますます重要となっている。

また、多様化する農業の変化に即して制度の見直しを行い、さらなる事業運営の効率化と合理化を図り安定的な組織体制として1県1組合化の早期実現に向けて取り組んでいる。

われわれは、今後も農業のセーフティネットとして制度機能を十分に発揮し、農家経営の安定と地域農業の持続的発展に貢献できるよう、次の事項に取り組むものとする。

1. 多発する自然災害等に対応するため、「信頼のきずな」未来につなげる運動・目標総共済金額1兆3,485億円を達成すること。
2. 安定的な制度運営を進めるため、早期に1県1組合化を実現すること。
3. 農家負担の増嵩を招くことなく、収入保険制度、NOSA I制度改正を織り込んだ、平成29年度農業共済関係予算を満額確保すること。
4. 多様化する地域農業に対応するため、制度の拡充発展を図ること。
5. 農家・組合員との「絆」を強固にするため、広報・広聴活動の充実と強化を図ること。
6. 収入保険制度の実施主体を目指し、その使命を十分に理解し実施できる団体であることを広く発信して、農業経営を支援すること。

これらの実現のため、全県NOSA I 組織の総力を結集して、これにあたることを誓い、ここに決議する。

平成28年11月1日

第74回秋田県NOSA I 大会